

市民広聴会「市長と話そう」の記録 ③富士見市民センター

■開催の概要

日時	令和5年10月27日（金） 18：30～20：00
場所	富士見市民センター
主なテーマ	重点戦略1「子どもにやさしいまちづくり」
参加者数	23人

■意見交換の概要（要約）

ご意見（ア）

○小・中学校の教師で性問題を起こした教員が、学校に残れないようにしてもらいたい。埼玉県で統一的な対応ができないのであれば、鶴ヶ島市として独自に対応してもらいたい。

→ご指摘の件については、市でもしっかり対応していくようにする。

ご意見（イ）

○全国的に不登校児が増える中、多様な学びを支える不登校特例校が全国で整備されつつあるが、埼玉県には未だないかと思う。市内での学びの多様化学校の設立、第三の居場所として自由に過ごせる支援室の設置などの取組について、市ではどう考えているのか。

→本市では、まず相談体制の強化ということで、先生とは別にスクールカウンセラーの配置の充実を図っている。県の予算での配置に加えて、市の独自予算で雇用し、保護者や先生の相談に対応している。このほか、各学校ではのびのび算数教室等を実施している。

ご意見（ウ）

○不登校については、なかよし学級やチャレンジルームなど、学校も頑張っている。学校だけでなく地域でも子どもを見守ることが大事であり、地域の意識を変えていくことも大事だと思う。

→それぞれの子どもの状況に合わせて対応していくことが大事だと思っている。地域と連携できることはお願いしていきたい。

ご意見（エ）

○不登校に関して、実際に子どもが不登校になってから保護者が、教育支援室アペルトを調べないとならない状況にあり、学校からの情報提供がほとんどない。カウンセラーや病院へのつながりなど、どのような支援があるのか分かりにくい。教育センターに相談し、そこから学校につないでもらっているというような状況である。学校は保護者にもっと寄り添ってもらいたい。

→難しい状況に置かれている子どもが数多くいることは承知しており、解決に向けた情報をしっかりと届けていくことに努めていく。

○不登校などの問題が生じたときに、当事者にどう対処したらいいかの情報提供を的確にしてもらいたい。それだけでも当事者はだいぶ安心できると思う。

→市のHPが必要な情報にたどり着くまでに煩雑であるということは課題として認識しており、改善を進めているところである。相談先や支援等に係る情報を整理し、年内に保護者にお知らせしていく予定である。また、今年度、校内支援学級のモデル校を設定し、実施しているところである。

○モデル校はどこか。

→南小学校である。

ご意見（オ）

○こども支援課では、困っている子ども達とのつながりができていないと思う。発育支援センター、教育センターと一緒に進めてもらいたい。

→ご意見として何う。

ご意見（カ）

○自分が暮らす住宅地内の道路に問題があり、市に相談に行くと「自治会を通して」と言われ、地元議員に相談に行くと「頼られても何もできない」と言われた。自治会には、当初は入っていたが、現在はメリットを感じられないので退会した。自治会を退会した世帯は、どのように要望等を伝えていけばいいのか。自治会を通してというが、最初から自治会に入っていない人達の要望や悩み等にどう対処していくつもりなのか。自治会に入らないと意見が通らないということなのか。

→自治会については、基本、皆さんに入ってもらいたい。自治会長を中心に、地域の問題と一緒に取り組んでもらいたいという思いである。

ご意見（キ）

○自治会の加入世帯は4割ぐらいだと思うが、自治会が住民の要望等の窓口となるのは無理がある。個人や地域で問題があった時に、それぞれが市役所に行って相談するということになると思う。自治会を通さないと対応できないというのは違うと思う。

→ご意見として何う。

ご意見（ク）

○我が子は発達支援が必要な子どもであるが、生育歴を、幼稚園以降、学年が変わる都度に何度も書かされ、かなり負担であった。学校や教育センターで共有できるシステムを整備できないものか。我が子のクラスには、配布されたタブレットでゲームやYouTubeなど授業に関係のないことに使っているも、指導が行き届かないと聞く。このような問題のある個別案件にきちんと対応できる仕組みを考えてもらいたい。先生は強い姿勢で対応してもらいたい。問題のある児童の授業を受ける権利の前に、その他の授業を受けたい児童の権利を守ることを真剣に考えてもらいたい。

→ご意見として何う。

ご意見（ケ）

○所沢市では、第2子の保育料が無料になると聞いたが、鶴ヶ島市もそうになると嬉しい。給食が貧相であるという話も聞く。給食費を無償化できれば、鶴ヶ島市の魅力になるのではないか。

→保育料の設定には課題があると思っており、しっかり検討していきたい。給食については、食材費の高騰分を市が負担し、できる限り美味しい給食を提供したいという気持ちで取り組んでいる。給食費の無償化については、本来国が方針を示すべきものと思っている。

ご意見（コ）

○学校の先生の負担を軽くするためにも、部活動の地域移行を進める必要があると思う。小学校でも高学年では教科制にすれば、負担が減るのではないか。子どもの6人に1人いると言われている子どもの貧困についても何かしらの対策を考えてもらいたい。

→教員の負担軽減に関しては、印刷等の作業を手伝う補助員を入れる等の対応をしている。子どもの貧困については、ウェブサイトを通じた食料支援等を行っている。引き続き必要な取組を検討していきたい。

ご意見（サ）

○埼玉県で虐待禁止条例の改正案が出されたが、9歳以下の一人での登下校、公園遊び、留守番は虐待とみなされ、通報が義務化されるなど、実態とかけ離れた内容であったため、撤回された。条例案に対し、市として抗議はしたのか。していないのであれば、抗議するつもりはあるのか。

→改正案の中身を見て、現実的ではないと思っていた。もし可決された場合は、本市としても対応を検討していく必要がある。県の改正条例案については基本的には反対の立場である。

ご意見（シ）

○坂戸市では、給食費、子ども医療費が、公立校も私学校についても無償化されるようだが、鶴ヶ島市ではできないのか。坂戸市はインフルエンザ予防接種も無料である。医療費は、高校生まで無料化してもらえると嬉しい。

→給食費については、坂戸市のほか所沢市などが無償化していくことになったが、法律で規定されている点から、本来は国が全国统一したかたちとなるよう検討してもらいたいと思っている。食材の値上げもあったが、その分は市が負担し、家庭の負担はそのままとしている。インフルエンザ予防接種については、全ての人が接種するわけでない任意の接種であること、費用も医療機関によって異なることから、無償化ではなく、高齢者等に対しては1,500円の個人負担で接種できるよう補助している。

ご意見（ス）

○給食費については、負担していることで要望を言える面もあった。無償化になると発言もしにくくなると思う。

→要望と無償化は別ものである。限りある予算を、給食費無償化に充てるのか、あるいは教育環境の改善に充てるのか、皆さんの声を聴きながら進めていきたい。

ご意見（セ）

○小6の息子がいるが、学級が崩壊し、夏休み後に担任が変わった。授業妨害、放棄する児童がいて、他の子どもにも影響を与えている。先生が問題の児童を隔離するなど、具体的に対処しないと、通常の子

どもが被害者となってしまう。情報の共有、学校と親との連携も含めて、きちんと対応してもらいたい。
→子ども自身、子どもを取り巻く環境のどちらも大きく変わってきており、全てにおいて対応が難しくなっている。どちらにも教育を受ける権利があるため、できることから取り組んでいるところである。

ご意見 (ソ)

○学校運営協議会委員として、年4回学校を見ているが、先生も色々で、注意しない先生もいる。子どもも先生を見て、振る舞いを変えているところもある。
→貴重なご意見として伺っておく。

ご意見 (タ)

○子どもについて困っていても、どこに相談したらいいのかが分からない。相談先を教育委員会で示してもらえるとよい。先生の指導面のレベルアップに取り組んでもらいたい。
→相談先の案内・情報提供については、なるべく早く改善できるよう努力していく。教育委員会としても、定期的に学校を訪問し、教員と話し、個々の対応について協議・指導をしている。より専門性が必要ということであれば、専門機関につないでいく。ご心配の点があれば、教育センター、教育委員会に相談してもらえればと思う。

ご意見 (チ)

○学校の先生の数と質が不足している。特に小学校が大事であり、市の費用で補助教員を賄うことができないのか。
→学校の教育環境の向上ということでは、かなりの部分で努力を重ねてきている。地域の皆さんにも学校に入ってもらい、いろいろな意見をもらいながら進めているところである。

ご意見 (ツ)

○「子どもにやさしいまちづくり」ということで、様々な子育て支援策が実施されているが、周辺市町の動きを見ながら進めていくのか、先陣を切って進めていくのか。
→全力を投じて、子どもたちの環境を良くしていこうとしている。市内の学校の環境はだいぶ前進したように思うが、これからも前向きに、しっかりと子どもたちを育てていくという行政を前に進めていきたいと考えている。

ご意見 (テ)

○民生委員をやっているが、虐待を経験した子どもや児童養護施設に入っていた子ども、障害者などに施設等でダンスを教えている。まずは自分が何ができるのかを考えることが大事だと思う。教師が怒ることができないと言うが、本気で愛を持ってやれば理解されると思う。行政がそこを守っていく、そこをサポートしていくことが必要だと思う。問題のある子どもたちは駆け込むところがない。行政が示す相談先には連絡しない。子どもたちが利用するLINEでネットワークを作るなど、子どもがアクセスしやすい環境を用意することが大事である。そのようなネットワークを自分でも作っている。お金がないというのなら、僕がつながっている人に頭を下げて、資金を調達していくこともできる。子ども食堂な

ど、一人ひとりができることは多々ある。虐待に関しては、駆け込める場所とか、知らない高齢者でも助けてもらえるとか、近所の駆け込み寺のような場所ができればいいと思う。渋谷区でもやっているような、障害を持っている子どもが活躍できる場を用意してもらえると嬉しい。

→ご意見として何う。

ご意見（ト）

○学校教育課の顧問弁護士を務めている。今の制度の中では、学校現場だけでは限界がある。まずは風通しを良くすることが大事である。もっとオープンに地域等の第三者の目が学校に入っていくだけで、だいぶ違ってくるのではないかと思う。

→ご意見として何う。